

# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第134回

公益社団法人  
家庭問題情報センター

くまがみ たかし  
熊上 崇

## 母親に精神障害があり、大学進学に不安を抱えている高校生

友美は高校2年生。母、弟と暮らし、将来は社会福祉士になりたいと考えています。同居する母親はうつ病を患っており、友美は家事全般をこなし、最近では疲れがたまり、高校も休みがちです。何より不安なのが、大学への進学です。友美を心配した担任の山田先生は、スクールカウンセラーへの相談を友美に勧めました。

**カ(カウンセラー)** 最近、高校を休みがちですね。瘦せたような感じもするし、顔色もさえないけれど、生活は大丈夫かな？担任の山田先生も心配していたよ。

**友(友美)** 山田先生も心配していたんですか・・・そうですね、最近なかなか高校に行くのが大変で、欠席も多くなってしまうました。

**カ** 何があったのか、話せるところで良いので、聴かせてくれませんか？

**友** はい、実は家のことで、なかなか誰にも話せていないことがあります。母がうつ病なのです。最近かなり悪化してきて、何もできずに一日中寝ているばかりで、部屋も散らかっています。私の家は母子家庭で、中学生の弟がい

るのですが、お母さんの病気が悪くなると、食事や家事もできなくなってしまうので、私が食事の準備や洗濯、掃除など全部やらなければいけないし、お母さんも「ごめんね」ばかり言っていて気持ちも滅入っていて、私も疲れてしまっています。

**カ** それは大変でしたね。食事はどうしているの？

**友** 最初のうちは、がんばって作っていたんです。肉を焼いたりして、弟がたくさん食べるので、弟とも協力していました。でも、1ヶ月くらいでもうなんだか疲れてしまって、最近はカップラーメンとかばかりです。お金もないし。

**カ** お金は大丈夫なの？

**友** お母さんに障害年金が入るので、そ

**カ** 進学したい気持ちがあるんですね。どのような進学を考えているのかな？

**友** 社会福祉が学べる大学に行って、社会福祉士とか、困っている人を支援する仕事に興味があるんです。自分のような困っている人を助けられたらいいなと思っていますが、このままだと進学できるのか心配です。

**カ** とても素晴らしい目標、実現できる

といいですね。山田先生も「友美さんは成績も良いので、このまま高校に来ないのが本当に心配で、進学を応援したい」と話していましたよ。

**友** 山田先生、そんなに心配してくれていたんですね。嬉しいです。でも、やっぱり母子家庭で、親が精神障害で、進学なんて無理です。もう自分の家が嫌になります。どうして私だけこんな家庭なのかな。周りの友達と進路の話をするのも辛いです。

**カ** そうですよ。周りの友達がどの大学に行こうかとか話しているのに、家庭の事情も話せませんよね。でも、友美さん、あきらめることはないと思います。お金の問題と、気持ちの問題、何とか前向きに一緒に考えてみませんか？

**友** はい、ありがとうございます。でも、こんな私のような環境でも、何かできるのでしょうか？

**カ** まず、進学に関するお金の問題です。実は、都立高校にユースソーシャルワーカーという、生徒の社会的な支援をする仕事をする人が、週に1回、本校に巡回してきます。ユースソーシャルワーカーは、家計が大変な家の生徒の支援に詳しくて、先日も東京都の受験料の補助制度や、入学金の貸付や給付の制度について、詳しく教えてくれたんです。一度、ユースソーシャルワーカー

に受験料や入学金のことを相談してみませんか？

**友** そのような進学の費用の相談ができるんですね。ぜひソーシャルワーカーの方に相談したいです。

**カ** 分かりました。きっと良いアドバイスをもらえると思いますよ。先日はそのソーシャルワーカーが、生徒と一緒に貸付の相談に行ったりしていましたよ。

**友** それはぜひ、お願いします。

**カ** 次に気持ちの問題です。友美さんのように、家族の病気や障害のため、自分の学業よりも家族のケアをしなければならぬ若者が増えているそうです。ヤングケアラーというのですが、家族へのケアで精一杯になり疲れてしまったり、悩みを友達にも相談できずに、一人で抱え込んでしまっている若者が多いそうです。友美さんも、そのような気持ちになる時がありますか？

**友** はい、自分のつらい気持ちを話したいのですが、友達にも言えず、自分が我慢すればと思って自分の気持ちに蓋をしていました。

**カ** お母さんのかかっている病院はどこですか？

**友** 愛の森病院です

愛の森病院は良い病院で、実は、精神障害の方の家族のサポートが充実しています。患者の家族の方は、悩みを

相談しにくく、孤独な気持ちになります。でも、同じ境遇の仲間たちとお互いに話すことができる、とても気持ちが良いようになります。こうした家族会に出てみる気はありませんか？

**友** すごく興味があります。でも、ちょっと怖いというか、心配な気持ちもあります。

**カ** そうですよ。最初、誰でも心配だと思えます。でも、長い目でみると、家族会でお互いに助け合う、これをセルフヘルプグループといいます。同じ境遇の仲間と分かり合うことで、前向きになれるそうですよ。

**友** そうなんです。ありがとうございます。ぜひ参加してみたいので、先生も協力してくれませんか？

**カ** もちろんです！一緒に考えていきましょう。

.....

家族に精神障害などがあり、そのケアをする若者（ヤングケアラー）が増えていると言われています。悩みを打ち明けられず、進学も不安に思っている若者に対し、ソーシャルワーカーと連携し、金銭面や精神面など社会的支援につながることで、友美さんも前向きな気持ちになれたようです。

